

アレクサンドリア写本（アレクサンドリアしゃほん--Alexandrinus）は、シナイ写本、バチカン写本と並び、現存する三大ギリシャ語写本の一つで、シナイ写本以前は、英国で最も優れた写本でした。当初、アレクサンドリアの総主教であったキリロス・ルカリスが所蔵していたことから、この名があります。

旧約聖書のギリシア語訳の七十人訳聖書の多くの巻と新約聖書を含む 5 世紀のギリシア語聖書写本です。羊皮紙に大文字体の一種で最も一般的なアンシャル体で書かれています。当初 820 葉あったと思われるもののうち、773 葉を大英図書館が所蔵、展示しています。

マタイによる福音書の大部分、および創世記、詩篇、ヨハネによる福音書、コリントの信徒への手紙二の一部は欠落しています。

参考文献：

Wikipedia：[「アレクサンドリア写本」](#) 最終更新 2014 年 10 月 20 日